



「浦和のさかえに 歴史をほこる」これまでの150年、これからの50年

大いちょう

令和 3年10月 1日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和3年度 No.6

048 (829) 2737

「with コロナ」そして「after コロナ」も見据えた運動会

校長 永山 誉

学校における通常授業とオンライン授業を併せたハイブリット授業が終了し、久しぶりに全校そろっての授業が本日から再開されました。オンライン授業においては、当初回線が上手くつながらない等のトラブルに見舞われましたが、2週目からはおおむね順調に授業が実施されました。今後、いつこのような状況になるかわかりません。今回のハイブリット授業の実施状況を振り返り、今後活かしてまいりたいと思います。オンライン授業に御協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

さて、緊急事態宣言の延長に伴い延期となっていました「令和3年度 秋季大運動会」が、いよいよ来週の金曜日に開催されます。昨年度は、コロナ禍にあって、運動会の代替企画として、学年ごとに体育授業参観として日頃の体育の成果を御覧いただきました。今年度は、いわゆる「with コロナ」そして「after コロナ」も見据えながら運動会をブロック学年別に公開する形式としました。本校は、昨年度の新校舎の建設に伴い、校庭の広さが運動会の開催等に当たっての課題となっています。現在コロナ禍にあって、「密」を防ぐためにも、運動会の開催規模を縮小したり、参観人数を制限したりしていますが、先ほどの本校の課題解決のためには、今後は、今年のような開催方法を検討していくこととなります。そのような意味からも、今年の運動会は、「after コロナ」を見据えた行事となりますことをぜひとも御理解の程お願い申し上げます。



1年生「元気いっぱい あいうえスマイル」



2年生「心をあわせて ダンス!!」



3年生「花笠音頭」

「やれなかった やらなかった どっちかな」相田みつを

さて、この詩は、詩人であり、書家としても有名な相田みつをさんの作品です。学校行事の運動会は、日頃の教育活動の成果を発表する場ではありますが、この目を迎えるにあたって、子どもたちは、その練習過程において様々な困難を乗り越えながら成長しています。様々な困難を乗り越えるとき、頑張ったけれどやれなかったのか、それともやらなかったのかでは、大違いです。どこまで子どもたち一人ひとりが努力をしたのか、一人ひとりの頑張りとともに、集団としての頑張りにも目を向けていただければと思います。ここに示した写真は、各学年の表現種目の練習風景です。最初は体育館や教室で動きを覚えることに集中していましたが、本番が近づくにつれ、どのように表現すればよいのかを考えるようになるなど、一人ひとりの高まりが集団としての完成度を高めています。当日の子どもたちの頑張りとその練習過程も想像しながら御覧ください。限られた御参観となりますが、温かい応援をよろしくお願いします。



4年生「未来への架橋」



5年生「高砂ソーラン」



6年生「TWH～高砂の笑顔の輪を広げよう～」